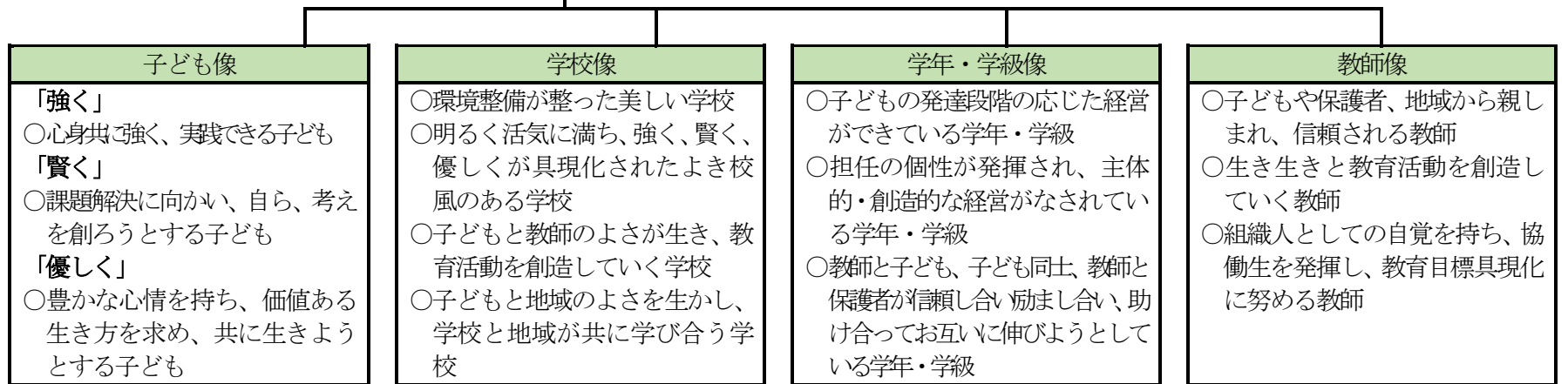


学校教育目標具現化の構想

学級経営の基盤	学校の教育目標
公教育の立場から、日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領・新しい福岡の教育計画等の教育施策・福岡市学校教育指導の重点を基盤とする。	○ 郷土北崎を愛し、基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意志と志をもち、心豊かにたくましく生きる子どもの育成 《 校訓 ・強く ・賢く ・優しく 》

学校経営の基本方針

- 子どもを中心にすえた、信頼と愛情に満ちた校風を樹立する。
- 子ども一人ひとりを大切に、個性と能力に則した教育を行う。
- 心身共に健康で「生きる力」をもった、人間性豊かな子どもを育成する。
- 教育活動全体を通して基本的人権の尊重の精神を養い、差別をなくそうとする意志と実践力を育てる。
- 教育目標を具体化する学年・学級経営の充実を図る。
- 全職員の和と協働により、校務分掌の効果的な運用を図ると共に合理的・効率的な運営を行う。
- 学校、家庭、地域社会の三者が協力し合って健やかに子どもを育む関係を築き、教育効果を高める。
- 職員間、児童・生徒間、保護者間の連携を深め、望ましい小中連携の関係を築くと共に、具体的な実践を積み重ねる。



具体的な教育活動

- 1 学年・学級経営の充実 2 生きる力をはぐくむ学習指導の充実 3 道徳教育の充実を努める 4 自主、実践的態度を育てる特別活動の推進
 5 子ども一人ひとりの学び方や生き方を育む総合的な学習の時間の推進 6 人権教育の推進 7 生徒指導の推進 8 健康教育の推進
 9 特別支援教育の推進 10 学校図書館教育の推進 11 教育環境の整備と美化、学習に生きる環境づくりの推進

本年度の重点目標

- (1) 確かな学力の育成を図る (2) 豊かな心の育成を図る (3) 安全・安心な学校づくりを行う (4) 清掃が行き届いた美しい学校にする
- 【重点目標達成のための努力点】**
- (1) 学年・学級経営の充実に努める。
- ① 学級経営案を作成し、意図的・計画的に経営し、実践を評価し、改善を図っていく。
 - ② 教師の個性を生かし、独自性のある学級経営を創造すると共に、学年間（低・中・高学年）の協力を図る。
 - ③ 改善策を得るために、経営について評価の機会を多く設ける。
- (2) 教育活動の3つのプランを推進する。
- ① 郷土生き方学習の充実に努める。
 - 生活科・総合的な学習の時間の充実
 - ・総合的な学習の時間への関連を図る生活科単元の工夫、生活科・総合的な学習における学習の進捗状況について月1回近接学年会で連絡しあう。
 - 郷土の人に学ぶ道徳学習の充実
 - ・他教科等と関連させながら進める。
 - ② 学力向上プランの充実に努める。
 - 学校司書の効果的な活用、及び読み聞かせ活動等を通して、国語力の向上を図る。
 - 外国語活動の充実に努める。3～4年生においてもALTを活用した活動を取り入れる。中学校英語教師との連携を図る。
 - 放課後学び舎授業を新たに実施。従来行ってきた放課後補充学習と合わせて学力向上の取り組みの深化を図る。
 - ③ 交流プランの充実に努める。
 - 2つの学年の合同授業を推進する。
 - 秋月小学校との交流を充実させる。(本年度も5・6年)
- (3) 研修を充実させる。
- ① 確かな学力の定着を図る授業作りを行う。
 - 算数科において、講師を招聘した研究授業を行う。また、全員が授業公開を行う。
 - 授業研究では、単元導入前に指導すべき内容を明確にし、支援の方策を具体化する。学びにそって繰り返しや補充、進化を図っていく。
 - ② 特別支援教育の充実に努める。
 - 保護者・地域への啓発。 ○ 個性を伸ばす教育課程。 ○ 特別支援教育コーディネーターの全学年児童への関わりを工夫する。
 - ③ 若手教員の指導力向上を図る。
 - 教育実習受け入れの機会等を活用した授業公開や先輩教師による講話等を若手教員の指導力向上に活かす。
- (4) すべての教育活動において、「豊かな心を育てる」ための教育実践を行う。
- ① 基本的な生活習慣や善悪の判断、社会の規範やルールを身に付け、自主性を育み、「豊かな心」を身に付けた子どもの育成に努める。
 - ② 一人一人を大切にする指導を行い、自尊心を持った子どもの育成に努める。
 - ③ 地域コーディネーターと協力した体験的道徳教育の充実に努めるとともに、特別な教科道徳への移行準備を進める。

